

SPECIAL COUPON

今回「寄り道ふえにーちえ」にご登場いただいた
“茶寮つぼ市製茶本舗 堀本館”さんより

読者のみなさまへ
ステキなプレゼント!

こちらの「フェニーチェ堺 Vol.28」を

茶寮つぼ市製茶本舗 堀本館さんへご持参いただき、
店内でお買物もしくはご飲食のお客様先着100名様に ▶ (玉露・煎茶・ほうじ茶)

「お好きなティーバッグ」
1パックプレゼントいたします!



※先着人数に達した時点でプレゼントを終了とさせていただきます
※クーポンのご利用は2025.02.28まで

サ カ イ

☆sacayメイト募集!☆

フェニーチェ堺や堺市文化振興財団で取り扱うチケットを
便利にご購入いただけるサービスです。



「sacay
メイト」
4つの特典

特典 01

先行予約
チケットがいち早く
予約できる
(一部公演を除く)

特典 02

WEB
チケット購入
どこからでも
チケットが買える

特典 03

メルマガ配信
最新の公演情報を
メールでいち早く
お届け

特典 04

その他
お得な情報が
届くかも?

登録数
58,000人

登録無料

詳しくは [sacayメイト](#) 検索



フェニーチェ堺・堺市文化振興財団への寄附のお願い

フェニーチェ堺をはじめ堺市文化振興財団をご支援いただく寄附金を募集しております。

公益財団法人である当財団への寄附は税制上の優遇措置が受けられます。

詳しくはホームページ、又は堺市文化振興財団 総務課までお問い合わせください。

TEL.072-228-0114 (平日9:00~17:30) FAX.072-228-0115

情報誌設置場所(季刊)

堺市各区役所情報コーナー、
文化会館、図書館、その他堺市関係施設。
南海線、泉北高速鉄道の主要駅。
その他、配布協力施設など。

ミュシャ館の 舞台裏

2024 12.7 SAT.

— 2025 4.9 WED.

トーク・イベントや
講演会も開催予定!
詳しくは
当館HPで!

COLLECTION 収集 EDUCATION 教育 WOK CURATION キュレーション CONSERVATION 保存修復

堺 アルフォンス・ミュシャ館は
アル・ヌーヴォーを代表する芸術家
アルフォンス・ミュシャ(1860-1939)の
世界有数の豊富なコレクションを有した美術館。
本展では収集、保存修復、教育、キュレーションなど、
美術館の仕事に注目し、
当館を例にその舞台裏をご紹介。

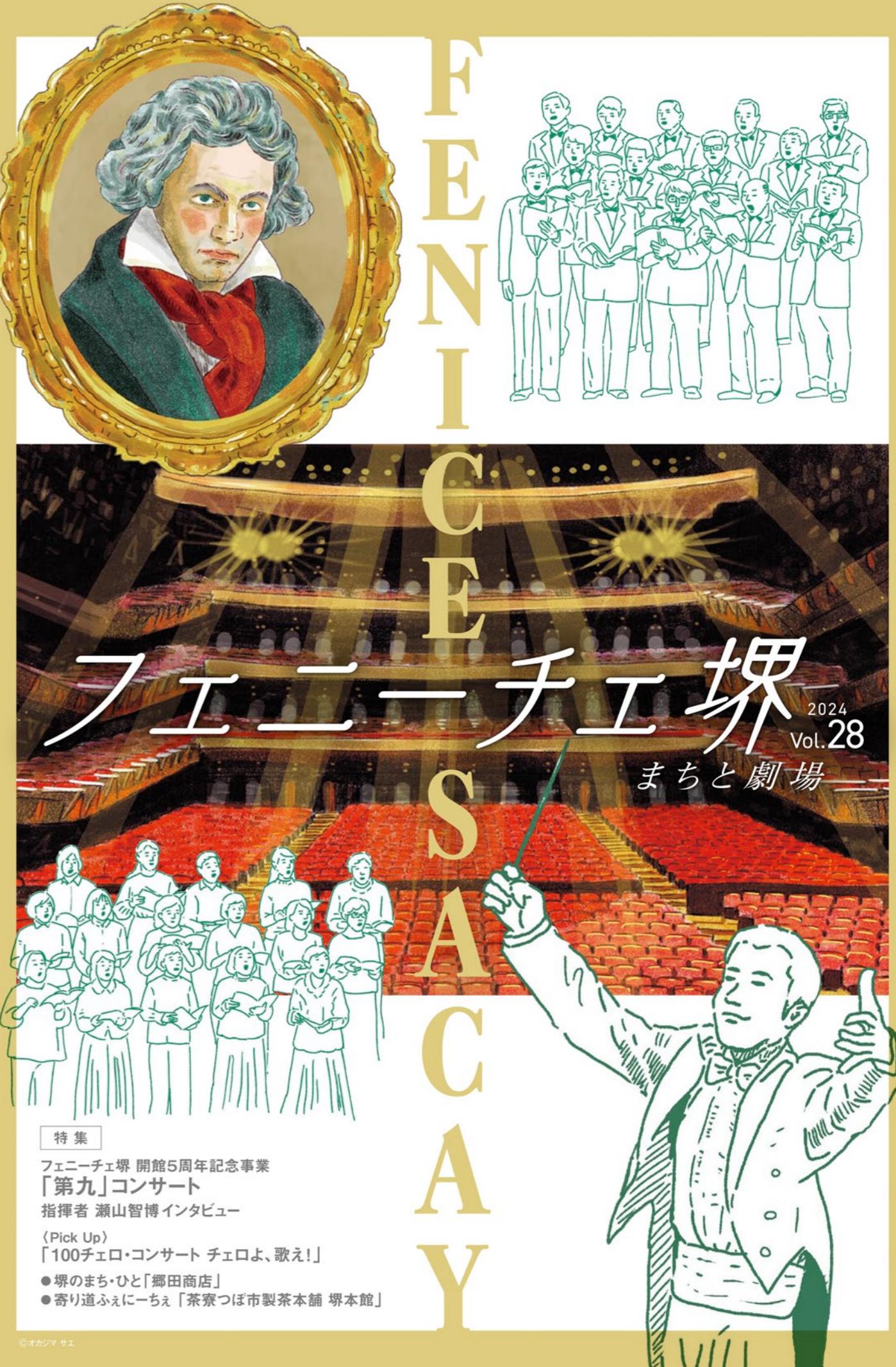
【開館時間】9:30~17:15
(入館は16:30まで)
【休館日】月曜日(1月13日、
2月10・24日は開館)、年末年始
(12月29日~1月3日)、1月14日、
2月12・25日
【観覧料】一般 510円/
高校・大学生 310円/小・中学生 100円
【主催】公益財団法人堺市文化振興
財団/堺 アルフォンス・ミュシャ館
【後援】在堺チエコ共和国名譽領事館
【協力】(株)ドイ文化事業室、
OGATAコレクション

Tel 072-222-5533
[FAX] 072-222-6833
[H P] <https://mucha.sakai-bunshin.com>

※小学生未満、堺市内にお住まいの満65歳
以上の方、障がい者手帳をお持ちの方と介助
の方は無料。
※20人以上の団体は割引料
金適用となります。事前にお
問い合わせください。
※その他各種提携割引制度
があります。

ミュシャ館HP

QRコード



~2025.03.30
主な主催公演・イベント

FENICE SACAY CALENDAR

'25 1/18
土曜日
落語

鳳凰亭落語シリーズ
桂南光 独演会

開演15:00

'25 1/25
土曜日
クラシック

川口成彦
フルティピアノ
リサイタルシリーズ2024
第1回「古典派からロマン派へ」

開演15:00

'25 2/10
月曜日
落語

鳳凰亭落語シリーズ
桂宮治 独演会

開演15:00

'25 3/1
土曜日
文楽

THE
フェニーチェ文楽
~魂がゆくえ~

開演時間未定

'25 3/22
土曜日
クラシック

サー・アンドラーシュ・シフ指揮
カペラ・アンドレア・バルカ

開演17:00

'25 3/23
日曜日
落語

鳳凰亭落語シリーズ
桂かい枝 独演会

開演15:00

'25 3/30
日曜日
クラシック

100チエロ・コンサート
チエロよ、歌え!

開演15:00

◎文化庁シンボルマークの付いた公演は令和6年度の文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会の助成対象事業です。

チケット購入方法 WEB 電話 窓口

WEB購入
6:00～翌2:00

チケット購入ページ
sacayメイトへの登録が必要です
sacayメイト チケット 検索



電話予約
10:00～18:00

堺市文化振興財団チケットセンター
☎0570-08-0089 [チケット予約専用]
※一部携帯・CATV接続電話・IP電話からはご利用いただけません。

窓口
直接購入
9:00～20:00

一般発売日の翌週より
残席がある場合のみ販売

◆フェニーチェ堺
TEL.072-223-1000 FAX.072-223-1005
大阪府堺市堺区翁橋町 2丁1-1 (南海高野線「堺東」駅徒歩8分)
休館日:第1・3月曜(祝日の場合は翌平日)および年末年始

◆堺市立梅文化会館
TEL.072-296-0015 FAX.072-291-7083
大阪府堺市南区桃山台 2丁1-2 (泉北高速鉄道「梅・美木多」駅前)
休館日:月曜(祝日は開館)および年末年始

◆堺市立東文化会館
TEL.072-230-0134 FAX.072-230-0138
大阪府堺市東区北野田1084-136 (南海高野線「北野田」駅直結)
休館日:水曜(祝日は開館)および年末年始

◆アルテベル
(堺市立美原文化会館)
TEL.072-363-6868 FAX.072-363-0070
大阪府堺市美原区黒山167-1 (南海バス「美原区役所前」バス停前)
休館日:第2・4月曜(祝日は開館)および年末年始

*ご購入いただいたチケットは公演中止を除き、変更・キャンセルはできません。※紛失・破損等いかなる場合においても再発行はいたしません。※WEB購入・電話予約での発券・配達には所定の手数料がかかります。※最新の公演情報はフェニーチェ堺ホームページをご覧ください。都合により、曲目・公演内容が変更になる場合がございます。

表紙について
ベートーヴェンが生涯最後の交響曲「第9番」を作曲したのは1824年のこと。5月7日にウィーンのケルントナートア劇場で初演され、ほとんど耳が聞こえなくなっていたベートーヴェンは、演奏後の拍手喝采に気付かなかつたといいます。当時のヨーロッパはフランス革命をへて人権思想が広まり、人々の生き方が大きく変容した時代でした。音楽も王侯貴族のために作曲され演奏されるものから、民衆の側へと移っていきます。人生そのものを表現したとされる「第九」、そしてあの力強い合唱に人々が共鳴したのには、そのような背景があったのでしょうか。

○公演情報で「[主催]フェニーチェ堺」と表記されているものは、フェニーチェ堺の指定管理者である公益財団法人堺市文化振興財団が開催する公演です。

12/28
土曜日
クラシック

'25 1/5
日曜日
オペラ

川口成彦
フルティピアノ
リサイタルシリーズ2024
第1回「古典派からロマン派へ」
開演15:00

'25 2/10
月曜日
落語

Teatro Trinitario 2025
新春を寿ぐ
「メリー・ウイドウの世界で
巻き起こるオペラガラコンサート」
開演14:00

'25 2/23
日曜日
クラシック

フェニーチェ堺
開館5周年記念事業
「第九」コンサート
開演15:00

劇場とわたし

03 小説家 吉村萬壹

「脱皮」

ワカテdeワカル フェニーチェ文楽 vol.5
人形浄瑠璃文楽「火群一HOMURA」
(2024年10月24日公演)

一年ぐらい前から、掌せき膿ほう症という皮膚病を患っている。掌や足の裏の皮膚が部分的に固くなる病気だ。原因はよく分からぬが、ストレスや疲労、銀歯による金属アレルギーではないかとの説もある。

この皮膚病、普段は何ともないのだがたまに猛烈に痒くなる。医者からは刺激しないようにと言われているので極力我慢するのだが、うっかり搔き始めてしまうともう駄目で、搔きむしりが止まらない。搔くほどに痒みは増し、搔いて搔いて皮が剥けるほど搔いて、それがまた白目を剥くほど気持ちよく、このままイッてしまうのではないかと思うほどである(イキ先は知らないが)。今回フェニーチェ堺の招きで、八百屋お七と酒屋の娘お三輪という二人の女性を描いた、若手による文楽を見る機会を得た。幸い、観劇中に掌せき膿ほう症の痒みの発作は出なかったが、その代わりお七とお三輪が取り憑かれたような発作的な行動を見せてくれた。

お七は惚れた男の吉三郎のために、火の見櫓に上って偽りの半鐘を打ち鳴らす。それにより彼女は火あぶりの極刑を免れない。お三輪は愛する求馬を追って金殿に入り、官女たちに苛められて嫉妬と怒りに半狂乱になり、挙句に漁師の男に刺殺される。しかし彼女は死に際に、自分の惚れた男・求馬が中臣鎌足の長男・淡海であり、自分を刺殺した漁師が中臣鎌足の家臣であることを知り、我が命が淡海の役に立ったことに満足しつゝ息絶えるのである。狂乱ぶりが素晴らしかった。

この二人の女にとって、惚れた男以上に大切なものはなかった。それゆえ彼女たちは、一線を超えた狂態の中にあっても決して不幸ではなく、寧ろ自らを燃焼させながら恍惚として死んでいったに違いないと、私は揉み手をしながらそう思った。

人は誰でも人生の中で、自分の欲望に抵抗出来ない瞬間があるような気がする。

それは皮膚病を搔きむしるという小事から、死罪や心中といった命を賭し



2024年10月24日フェニーチェ堺公演の記録写真

た大事に至るまで、程度の差はある自制心など全く役に立たない不可抗力の事態である。きつく締めていたタガが一挙に外れて、地位も名誉も世間も、その逸脱行為がもたらす重大な結果も、何もかもどうでもよくなってしまい、行き着く所まで行かずにおれない。このような状況にあっては、人としての皮は剥がれ、眠っていた本性が顔を出す。火の見櫓を上る直前お七の着物は真っ赤になり、髪はバラバラになる。彼女はこの瞬間一種の怪物と化したのだろう。脱皮とも変態(メタモルフォーゼ)とも言える忘我状態。無心に掌を搔きむしる私の意識は気持ちよさの中で溶けて無くなり、お七とお三輪は宗教的法悦とも言える恍惚の中で命を落とす。

生の極まりとしての死と、死によって照り返される生とが一致する瞬間。小ホールでの観劇中、私はふと事前に担当者の方から受けた説明を思い出した。

フェニーチェ堺は、六年前に旧市民会館を建て替えてグランドオープンした建物なのだという。市民会館として一旦死に、新しいホールとして生まれ変わったこの建物は、若々しいエネルギーに溢れていると同時に、この先果たして生き残っていくかどうかという危うさも秘めていることだろう。脱皮直後の生物は捕食者から最も狙われやすく、蝉の羽化の成功率は四割ほどだという。

今まさに、激しく新陳代謝しながら生き延びようとするこのコンサートホールには、大量の栄養分が必要であるに違いない。その栄養分は、文楽や落語、コンサート、オペラ、バレエなどの芸術的催しであると共に、観客も一種の食べ物でもあるかも知れず、我々はホールに栄養を与えた後で吐き出される排泄物なのかもしれないという奇妙なイメージが湧いた。しかしここにいる観客は、このホールや芸能が維持・成長していくためであれば、自分たちが消化され排泄されることなど一向に気にしない。寧ろそれこそが、わざわざホールに足を運んでチケット代やグッズ代を支払うファンの醍醐味なのである。

フェニーチェ堺の「体内」で我々が目撃したお七とお三輪の狂態は、さらながら生まれては死に、死んでは生まれ変わる細胞のダイナミックな生命活動のよう、歴史の中で延々と上演続けられる芸能、改修される建物、絶えず出入りする観客、それら全てが死と再生を繰り返しながら生き続ける文化的生態系であり生命体なのだとと思った。

公演が跳ね、フェニーチェ堺から吐き出された観客たちは排泄物と言うよりもむしろ黄金と化し、観客もロビーに並んだ出演者も皆笑っていて、その笑顔は光り輝いて見えた。

観劇の結果心のリミッターが吹っ飛んでしまい、お七、お三輪、黄金の客たち、フェニーチェ堺と共に私も一皮剥けた気がしてふと見ると、いつの間にか搔きむしり過ぎた掌の皮が白く粉を吹いていて不快な痛みを感じた。闇雲に脱皮しようと死んだ切り再生しないこともあるので注意を要する、と肝に銘じつつ、消え残る高揚感の中帰路についた。

吉村萬壹 (よしむら まんいち)

1961年松山市生まれ大阪育ち。2001

年「クチュクチュバーン」で文學界新人賞、

2003年「ハリガネムシ」で芥川賞、2016

年『臣女』で島清恋愛文學賞受賞。高校

教員、支援学校教員を経て専業作家とな

り、現在に至る。デビュー以来一貫して、宇

宙人が地球に飛来して初めて人類とい

う生き物を見たらどう思うか、という觀点から

創作している。人類は好きではないが個々

の人間は面白いと思う。特に必死な人間の滑稽さが好み。絵も好きで、

『流しの下のうーちゃん』という漫畫本を出している。



【劇場とわたし】は著名なアーティストや文化人がフェニーチェ堺に足を運び、実際に主催公演を鑑賞して書かれたものです。

開館5周年記念事業「第九」コンサート

国際的に輝かしいキャリアをお持ちの指揮者・瀬山智博さん。フェニーチェ堺開館5周年を記念して、2025年2月に瀬山さんの指揮でベートーヴェンの「第九」が演奏されます。期待ふくらむ公演に向けてお話をうかがいました。◎Interview&Text／磯島浩彰

—— ベートーヴェンの「第九」は、クラシックファンならずとも聴く機会が多いメジャーなプログラムです。「第九」にどのような思いをお持ちでしょうか。そして、どのような「第九」を作りたいとお考えですか？

幼少期にピアノを始めたころからベートーヴェンは特別な存在です。世の中にある交響曲の中でもベートーヴェンの「第九」は頂点に位置しています。交響曲というジャンルにソロ歌唱と合唱を加えたことや、全体としての構成もそれまでになかった革新的なアイデアがたくさん詰まっています。人類愛に満ちたこの作品の理念が伝わるような演奏を目指しています。

—— 「第九」は多くの指揮者がタクトを振っていて、よく使用する楽譜のことが取り上げられます。瀬山さんはベーレンライター版というのを使用されるそう

ですが、ライトコブフ新・旧版など、他の版と比べてどこが違うのか、簡単に特徴を教えてください。

ベーレンライターの楽譜には自筆譜などの資料に基づいた細かなアーティキュレーション(音の形を整え、音と音の繋がりに表情付けを行う演奏技法)。スラーやスタッカートなど)や強弱記号が施されています。楽譜というのは自筆譜、初演時のパート譜、当時出版された楽譜など数ある資料が存在しますが、時には編集者による独断の解釈によって作曲家が本来描いたことが改竄されることがあります。膨大な情報をまとめて我々の手に届くよう出版したことにおいてベーレンライターの功績を信頼しています。

—— ウィーン国立音楽大学指揮科に在籍中に、ウィーン楽友協会合唱団に



入団されています。またウィーン少年合唱団の指導も務められました。名門合唱団での活動は、現在の瀬山さんにどのような影響を与えていますか？今回のように、地域の市民合唱団を指導される上で大切にされていることと合わせてお願いします。

ウィーン楽友協会合唱団に入り数多くのコンサートで世界のオーケストラ、指揮者と共に演奏することはとても貴重な経験でした。指揮者は音を出さないので、奏者側から指揮を観察し、オーケストラと共に演奏することは実に有意義でした。第九も何度も歌いましたが、2009年のティーレマンの指揮、ウィーン・フィルの演奏は映像化されているので、若かりし日の私を観ることができます(笑)。ディクション(歌唱発音)については妥協することなく、いつも大切に取り組んでいます。ドイツ語は日本語と違う舌の使い方、口の筋肉が必要なので、すぐにマスターできることではありませんが、繰り返し練習しトレーニングすれば必ず身になっていきます。言葉を勉強することは日々の繰り返しが大切です。

—— 初めて「第九」を聴いた皆さんがおっしゃるのが、お馴染みの「歓びの歌」のメロディーが登場するまで相当な時間がかかる驚いたということです。「第九」の楽しみ方を教えていただけますか？

1楽章から4楽章までの構成は人生そのもので、ベートーヴェンが追い求めた、人類の向かうべき場所が示されています。そこには混沌と苦悩、享楽、そして愛と祈り、といった人間の様々な側面が描かれています。1楽章から繋がる音楽ドラマを体験してこそ、「歓びの歌」が真の「歓び」になるのです。



Beethoven's Symphony No.9

第九に参加されるみなさんにお話をうかがいました

合唱仲間ができる楽しみも！

フェニーチェ堺開館5周年記念事業「第九」コンサートでは、ソリストに加えて一般の方々も合唱団として参加します。ソプラノ・アルト・テノール・バリトンの各パートの選考を通過したみなさんのうち、早い方は10月から合同練習がスタート。仕事帰りや家の合間の時間を利用して、フェニーチェ堺の大スタジオに集まります。毎週の練習日以外も、もちろん自宅で“自主練”！約100名の参加者とそのご家族の日常に、濃密な音楽があふれています。



Interview 01

◆ 第九への参加は何回目ですか？

今回で20回目となります。最初はママ友に誘われて軽い気持ちで参加したのですが、今ではどっぷりハマっているようです。

◆ 第九の魅力をひとことでいうと何ででしょうか？

器楽と独唱と合唱の素晴らしいコラボレーションでしょうか。何度も歌っていてもどんどん新たな壁が現れて奥が深く、乗り越えた時の達成感もひとしおです。壁を共有できる仲間との交流も楽しみのひとつですね。

◆ どういった練習を心がけていらっしゃいますか？

最初の頃は通勤中の車で音源に合わせてひたすら歌ってました。でも身体が忘れてしまったり、細かいことに気づくようになったりするので、繰り返し練習しても、し足りません。

◆ 瀬山智博さんの指揮への期待などありますか？

瀬山さんに指揮をしていただくのは私は初めてなんです。やはり指揮者によって求められるテンポなど作品の表現が異なりますから、瀬山さんによってどんな第九になるのか楽しみです。

◆ フェニーチェ堺の環境は、ご出演される相川さんにとっていかがですか？

京都府に住んでいます(笑)。オペラ鑑賞で初めてこちらへ来た時、難波からの近さに驚き、ここなら大阪からの仕事帰りに通えると思いました。とても綺麗な施設で、天井が高くよく響くホールでいつも気持ちよく歌わせてもらっています。最高の環境で練習や本番を迎えるのは嬉しい限りですね。

相川賀代 さん[京都府]



Interview 02

◆ 第九への参加は何回目ですか？

今回で3回目の参加です。2017年に初めて参加した時はもう口パク状態でした(笑)。でも2度目の参加からは、一生懸命練習して皆さんと一緒に歌いきる達成感を味わえました。今回6ぶりの参加で楽しめます。

◆ 第九の魅力をひとことでいうと何ででしょうか？

見ず知らずの方と一体となって歌うところですね。みんなでドイツ語で歌うってカッコいいと思うんです。日常では味わえないカッコよさ！それとベートーヴェンにも興味が湧いて、色々調べて知識が備わると、その素晴らしさを再認識できることです。

◆ どういった練習を心がけていらっしゃいますか？

先生の口を見ながらうまく発音ができるように心がけています。発音がうまくできるように、口の開け方などを丁寧に教えてくださるので、助かっています。

◆ 瀬山智博さんの指揮への期待などありますか？

今回プロの方と一緒にステージに立てるということに期待と緊張がありますね。瀬山さんに指揮をしていただいて歌うなんて、そうそうないことですから。楽しみでもありますが、間違えないようにと、ドキドキしています。

◆ フェニーチェ堺の環境は、ご出演される小幡さんにとっていかがですか？

歩いてすぐのところにこんなにキレイで立派なホールができて、これは活用しないと！と思い、いち早くチケット購入サービスのsacayメイトに登録しました。今ではいろんな公演を観にいったり、イベントに参加したりと、フェニーチェ堺さんのおかげで生活が活気づいています。sacayメイトを活用して、人気公演のチケットもゲットできてお友達に喜ばれています。そして何より第九の練習も歩いて来れる！ってところが嬉しいですね。

小幡雅美 さん[堺市]



'25 2/23日 開演15:00 フェニーチェ堺 開館5周年記念事業 「第九」コンサート

開館5周年を記念して真紅の大ホールに響き渡る、ドラマティックな大合唱！名門ウィーン楽友協会合唱団出身の指揮者瀬山智博が大阪交響楽団と織り成す、渾身の交響曲第9番《歓喜の歌》。ベートーヴェンの最高傑作を堺で！

- 指揮／瀬山智博 ● 出演／水野智絵(ソプラノ)、藤木大地(アルト)、加護翔大(テノール)、三原剛(バリトン)
- 管弦楽／大阪交響楽団 ● 合唱団／フェニーチェ堺 第九記念合唱団
- 曲目／ベートーヴェン:交響曲 第9番 二短調 作品125「合唱付き、糞場富美子—古えの堺へ—百舌鳥耳原に寄せる3つの墓碑銘

◎主催／フェニーチェ堺 ◎協力／公益社団法人 大阪交響楽団、堺シティオペラ一般社団法人
【チケット発売中】 WEB 電話 窓口 び 口 e ★





鬼才ソッリマ率いる チェリスト160人の祭典

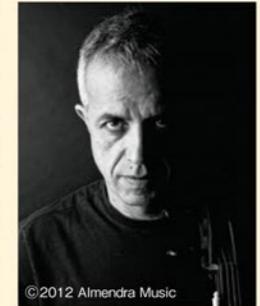
'25 3/30日 堺に上陸!
100チェロ・コンサート「チェロよ、歌え!」

見逃せない! 見逃すな!
100チェロの魅力は多様性。

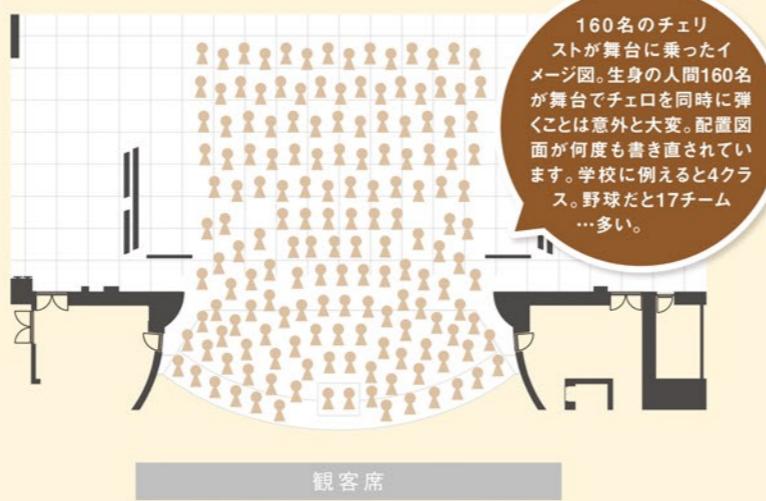
「チェロだけを背負って現地に向かえば良い。100チェロはそういうところ。なんとかなる」とジョヴァンニ・ソッリマは言います。チェロとチェロ演奏家(チェリスト)の特徴を知り尽くしたソッリマは、不思議な魔力を持って、160名を超えるチェリストを3日間のクリエイション(音作り/リハーサル)で巧みに導きます。参加者は様々で、プロの演奏家として活躍されている方から、まだ初めて1年余りの方まで。最年少は7歳。北は北海道から南は鹿児島まで、海外勢もフランス、イタリア、アメリカと遠方から集まっています。異なる背景を持つ人々がたった一つ「チェロ」をキーワードに、ソッリマのもと、プロオーケストラとは違う次元の音空間が立ち上がる瞬間に、ぜひご覧ください。フェニーチェ堺も全国(世界)からチェロを背負って集まつくる、チェリストの皆さんを全力でお迎えします!

ジョヴァンニ・ソッリマ [チェリスト・作曲家]

1962年イタリア・シチリア州バレリモ出身。世界最高峰のチェロ奏者兼作曲家。音楽一家に生まれたソッリマは、バレリモ音楽院でジョヴァンニ・ペリエラからチェロを学び、卒業後、シトウットガルト音楽大学とモーツアルテウム音楽大学でチェロをアントニオ・ヤニグロに、作曲をミルコ・ケレメンについて学んだ。これまでリッカルド・ムーティ、クラウディオ・アバド、マルタ・アルケリッチ、ヨーヨー・マなど多くの巨匠と共に演。クラシック、古楽、バロック、オペラ、またジャズ、ロック、即興演奏まで、400年に渡る音楽の歴史の旅を綴り、世界中の民族音楽まで飲み込んだ唯一無二の演奏スタイルと作風を持つ。



©2012 Almendra Music



最大の秘密! 3日間クリエイション大解剖!

100チェロの特徴は、なんといっても本番を含めた3日間の熱いクリエイション(リハーサル)の時間! 共に過ごす160人は、朝早くから夜9時まで3日間、会場であるフェニーチェ堺で事前に配られた楽譜によって音合わせ、音づくり。ジョヴァンニ・ソッリマやエンリコ・メロッツィの巧みな指導、引き出し、アレンジを経た中、クリエイションの中で上手くいった曲が当日の演奏曲リストに加えられています。そして『食事の時間』。食事を共にしながら歓談し、親睦を深めることは、この100チェロの中でもとっても大切にされています。もちろんソッリマやメロッツィも参加します。共に食事をとり、語らい、3日間濃密な時間を共に過ごすことで生まれる『連帯感』や『高揚感』、チェロを弾く歓びの共有が「音」になって立ち上がってくる、それこそが100チェロ! です。(現在、食事希望者は約90名! 配膳方法について、担当者は頭を悩ませています)



- 演奏予定曲目**
- ヘンデル: サラバンド Sarabande
 - バッハ: 無伴奏チェロ組曲 第1番 プレリュード Cello Suite No.1 Prelude
 - デヴィッド・ボウイ: 世界を売った男 The Man Who Sold The World
 - G.ソッリマ: チェロよ、歌え! Violoncelles, Vibrez!
 - ピンク・フロイド: アナザー・ブリック・イン・ザ・ウォール Another Brick In The Wall
 - ニルヴァーナ: ス梅ルズ・ライク・ティーン・スピリット Smells Like Teen Spirit
 - レナード・コーエン: ハレルヤ Hallelujah

ほか

◎ 映画上映も決定! 映画「氷のチェロ物語」上映会&トークショー

ソッリマが氷製チェロでツアーソーする音楽ドキュメンタリー。招へい元プロデューサーが熱く語るトークショーも。

'25 1/26日 15:00~

[会場] フェニーチェ堺小ホール
[料金] 指定席 ¥1,000



◆ 公演情報は09ページをご覧ください

Performance Information

チケット
WEB 「sacayメイト」WEB購入
電話 電話購入 窓口 窓口購入
※詳しい購入方法はP02をご参照ください

チケット
チケット
ひあ

QRコード
ローソン
チケット

QRコード
e
イープラス

未就学児
入場不可

クラシック 第1回 12/28土 開演15:00 第2回 '25 1/25土 開演15:00 小ホール

全席指定 各¥4,000

川口成彦フォルテピアノリサイタルシリーズ2024 —女性作曲家への憧れ—

クラシック音楽の歴史に彩りある美しい時間を刻んできた女性作曲家たち。

彼女たちが紡いだ音楽の時代を、川口成彦が奏でるフォルテピアノの音色で巡ります。

○ 出演 / 川口成彦

◎ 第1回「古典派からロマン派へ」

- 曲目 / バークピアノノナタ 長調 op.4-1
ファニー・メンデルスゾーンピアノナタ短調 ほか
- 使用楽器 / ヨハン・クレーマー 1825年ウイン製
(タカギクラヴィア所有)

※やむを得ない事情により曲目・公演内容が変更となる場合があります

○主催 / フェニーチェ堺
○協力 / タカギクラヴィア、フォルテピアノ ヤマモトコレクション

[チケット発売中]

◎ 第2回「ロマン派から近代へ」

- 曲目 / バックロー・グローネンダール:セレナーデ op.15-1
C.シューマン:スケルツォ 第2番 op.14 ほか
- 使用楽器 / エラール 1852年製
(ヤマモトコレクション所有)

文部省
Pコード277-787
Lコード55975



©Taira Tairadate

関連企画

堺の詩人 河井醉茗と「女性時代」展 12/28土.'25 1/4日~10日.'25 1/15水~25日

[会場] 交流・創作ガallery [料金] 入場無料 [時間] 10:00~20:00 (最終入場時間19:30) ※12/28(土)のみ13:00~20:00 ※1/6(月)、20(月)は休館

子供たちよ。これはゆづり葉の木です。このゆづり葉は新しい葉が出来ると入れ代わってふるい葉が落ちてしまうのです。

という一節から始まる「ゆづり葉」を書いた詩人・河井醉茗は1874年(明治7年)5月7日に堺で生まれました。詩作のかたわら、記者/編集者として多くの文芸誌にかかわり、詩の発展に尽力しました。昭和5年には「女性時代」を刊行し、女性詩人の育成に務めています。このたび、堺市立中央図書館が所蔵する貴重な資料を展示します。普段は非公開の「女性時代」誌の一部や醉茗の詩集(初版)をご覧になりながら、女性の芸術表現に共鳴した堺の詩人に思いを馳せてください。

○主催 / フェニーチェ堺
○協力 / 堀市立中央図書館

オペラ '25 1/5日 開演14:00 大ホール

全席指定 SS¥8,000 S¥5,000 A¥3,000

テアトロ トリニタリオ

Teatro Trinitario 2025 新春を寿ぐ “メリー・ウイドウの世界で巻き起こるオペラガラコンサート”

- 指揮 / 山下一史(大阪交響楽団 常任指揮者)
- 演出・構成 / 森川太郎
- 出演 / 並河寿美(ハンナ)、山田大智(ツェータ男爵)、樹貴志(ダニロ)、西影星二(カミュー)、村岡瞳(バラシエンヌ)
- ナレーション / Taro Morikawa
- ゲスト / 晴雅彦、石橋栄実 ほか
- 管弦楽 / 大阪交響楽団
- 合唱 / 大阪響コーラス・堺シティオペラ記念合唱団
- 曲目 / レハール 喜歌劇「メリー・ウイドウ」より



○主催 / 堀シティオペラ 一般社団法人、公益社団法人 大阪交響楽団、フェニーチェ堺

○協賛 / 大和ハウス工業 株式会社

[チケット発売中]

WEB 電話 窓口
ひ 口 e
Pコード278-374
Lコード56100



Performance Information

落語 '25 1/18 土 開演15:00 小ホール

全席指定 ¥4,000

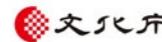
鳳凰亭落語シリーズ 桂南光 独演会

上方落語をけん引し、円熟の落語をお届けする桂南光。フェニーチェ堺5年ぶりとなる独演会が決定!

●出演／桂南光、桂しん吉、桂天吾



○主催／フェニーチェ堺
○制作協力／米朝事務所
[SOLD OUT]



WEB 電話 窓口 ひ 口 e ★ Pコード528-939
Lコード56204

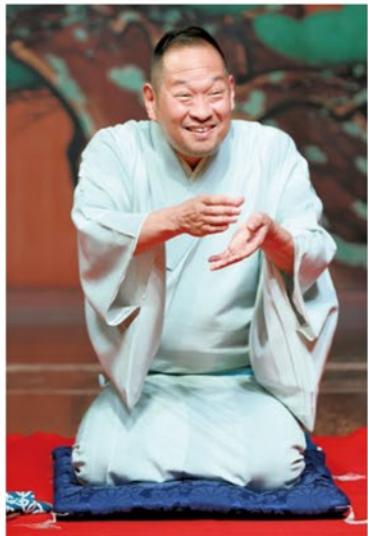
落語 '25 3/23 日 開演15:00 小ホール

全席指定 ¥3,000

鳳凰亭落語シリーズ 桂かい枝 独演会

落語家生活31年目を迎え、ますます好調の桂かい枝。北は北海道から西は遠くギリシャまで、各地で寄席に招かれる人気ぶり! 今年度の鳳凰亭落語シリーズのラストを飾る独演会で、誰もが吹き出すかい枝ワールドにお連れします。

●出演／桂かい枝、桂阿か枝、笑福亭喬明



○主催／フェニーチェ堺
[12/21(土)チケット発売]



WEB 電話 窓口 ひ 口 e ★ 文化庁

落語 '25 2/10 月 開演15:00 小ホール

全席指定 ¥4,000

鳳凰亭落語シリーズ 桂宮治 独演会

全国クラスの人気落語家・桂宮治が、昨年に引き続きフェニーチェ堺へ。明るい語り口に見え隠れする独特の人間観に、すっかり虜となるファンが続出!



○主催／フェニーチェ堺
[チケット発売中]



WEB 電話 窓口 ひ 口 e ★ Pコード530-128
Lコード54924

クラシック '25 3/22 土 開演17:00

全席指定 S¥14,000 A¥12,000 B¥10,000 C¥8,000

サー・アンドラーシュ・シフ指揮 カペラ・アンドレア・バルカ



©GM Márcia Lessa

ピアノの巨匠にして現代最高峰のバッハ奏者と賞賛されるサー・アンドラーシュ・シフ。普段はソリストや室内楽奏者として世界的に活躍する音楽家を集めた自身の室内オーケストラ「カペラ・アンドレア・バルカ」を率いて、珠玉のオール・バッハ・プログラムをお届けします。シフの精妙なピアノと指揮、そして一流の演奏家たちが描き出す“バッハの原点”をお楽しみください。

●曲目／J.S.バッハ：ピアノ協奏曲 第3番 二長調 BWV1054、ピアノ協奏曲 第5番 へ短調 BWV1056、ピアノ協奏曲 第7番 ト短調 BWV1058、ピアノ協奏曲 第2番 ホ長調 BWV1053、ピアノ協奏曲 第4番 イ長調 BWV1055、ピアノ協奏曲 第1番 二短調 BWV1052

○主催／フェニーチェ堺
[チケット発売中]



WEB 電話 窓口 ひ 口 e ★ Pコード280-051
Lコード52242



©Nadja Sjöström

クラシック '25 3/30 日 開演15:00 大ホール

全席指定 一般¥7,000 子ども(4歳~18歳)¥3,500

100チェロ・コンサート「チェロよ、歌え!」



イタリアの鬼才チェロ奏者ジョヴァンニ・ソッリマのもと、国境も世代も超えて100人のチェリストが集う、かつてない壮大なステージ!

●出演／ジョヴァンニ・ソッリマ、エンリコ・メロッソイほか ●曲目／J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲 第1番 プレリュード、ブルームズピアノ協奏曲 第2番、ソリマ：チェロよ、歌え!、ヘンリー・バーセル：冷たい歌、ヘンデル：サラバンド、ピンク・フロイド：アナザー・プリック・イン・ザ・ウォールズ、ニルヴァーナ：スマーズ、ライク・ティーン、スピリット、レナード・コーエン：ハレルヤ ほか

○主催／フェニーチェ堺 ○招聘・制作協力／ブランクトン
○特別協力／イタリア文化会館・大阪 ○後援／イタリア大使館
○協力／堺フィルハーモニー交響楽団

[チケット発売中]



WEB 電話 窓口 ひ 口 e ★ Pコード278-387
Lコード51673

バレエ '25 7/2 水 開演18:30 大ホール

全席指定 ブラチナ席¥24,000 S¥22,000 A¥18,500 B¥15,000 C¥9,000

英国バーミンガム・ロイヤル・バレエ団 「眠れる森の美女」



●演目／「眠れる森の美女」全3幕 プロローグ付
●音楽／ピョートル・イリイチ・チャイコフスキイ
●振付／マリウス・ブティバ、レフ・イワーノフ、ビーター・ライト
●演出／ビーター・ライト
●装置・衣装／フィリップ・ブラウズ
●オリジナル照明／マーク・ジョンソン

○主催／フェニーチェ堺
[2/15(土)チケット発売]



WEB 電話 窓口 ひ 口 e ★ 文化庁

チケット
取扱い

WEB 「sacay-メイト」WEB購入
電話 電話購入 窓口 窓口購入
※詳しい購入方法はP02をご参照ください

チケット
ぴあ

ローソン
チケット

e
イープラス

未就学児
入場不可

WEB 「sacayメイト」WEB購入
チケット 取扱い
電話 電話購入 惠口 窓口購入
※詳しい購入方法はP02をご参照ください



写真展 11/24日～12/26木 文化交流室

一般¥500 小中高生¥300 時間10:00～18:00(最終入場時間17:30)
※未就学児無料

五十嵐健太 飛び猫写真展



「飛び猫」「フクとマリモ」「ねこ禅」などの写真集が累計10万部発行の写真家・五十嵐健太が写真に収めた、大迫力&かわいい猫写真を展示します。また、事前にご応募いただいた飼い猫さんの写真を集めた「もふあつめ展」も同時開催♪ すてきな猫グッズも探しに来てください!

○主催／フェニーチェ堺
【チケット発売中】
WEB ※12/25(水)まで 口 Lコード53873
※12/25(水)まで
○3F文化交流室前の券売機にて販売中
※現金のみ ※高額紙幣は使用できません



バレエ '25 1/18土 開始①15:00
②18:00 大スタジオ

自由席 ①小学生¥800 ペア(小学生と保護者)¥1,500 ②一般¥1,500

知る! 楽しい! もっと観たい! バレエの世界



①子どものためのバレエ「シンデレラ」へのトピラ(対象:小学生と保護者)

②大人のためのバレエ「シンデレラ」へのトピラ(対象:中学生から大人)

今回のバレエ講座では、童話としても有名なバレエ作品「シンデレラ」を取り上げ、その作品世界を実演も交えてわかりやすく解説。知っていると見方がぐっと深まるポイントや、公演を楽しむためのコツをお伝えします! 最後はみなさんもバレエの動きを体験してみましょう。

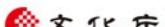
●解説／野間景(野間バレエ団副団長) ●出演／野間バレエ団

●ゲスト／マイヤー敬洋ハリー

○主催／フェニーチェ堺 ○協力／野間バレエ団

【チケット発売中】

WEB 電話 窓口 ★



イベント 12/21土 時間10:00～21:00 (1枠55分) 小ホール

¥3,500 (1枠)

未来の音楽家応援企画「チャレドリ」～Challenging your dreams～



夢に向かって挑戦する未来の音楽家がコンクールに向けて本番に近い環境で練習をしたり、オーディションの審査用動画を撮影することを応援するために、小ホールを時間単位で貸し出します。

◆対象／コンクールやオーディションに出場する方

※目的外の利用はできません
※4歳～中学生は保護者の同伴が必要、3歳以下は入場不可

○主催／フェニーチェ堺

[11/21(木)10:00受付開始]

[申込方法] ☎072-223-1000(電話のみ、先着順)

演劇 '25 3/4火～7金 [全4回] 大スタジオ

一般¥5,000 U-25(25歳以下)¥3,000 時間19:00～21:00

フェニーチェ演劇解体新書 Vol.10『日々のカケラを音楽劇にする』

講師と参加者が一緒に考え一緒に試しながら作っていく演劇ワークショップシリーズで、「少し学んで沢山考える」贅沢な時間を。どんなに退屈に感じてしまう毎日の一コマでも、その出来事を歌詞にして、歌を作ってしまえば立派な音楽劇になるはずです。参加者の皆さんの“日々のカケラ”を集めて音楽劇を作っています。日常生活に埋もれていた些細な自分の記憶を掘り起こし、音楽に託す。一体、どんな音楽劇が出来上がるんでしょうか。

●講師／藤井颯太郎(俳優・作家・演出家)

●ゲスト講師／伊澤陽一(スタイルパン奏者)

◆対象／中学生以上(未経験者歓迎)

○主催／フェニーチェ堺

[1/9(木)12:00～1/15(水)13:00申込受付]

※定員を超える申込があった場合は抽選

※定員まで余裕がある場合 1/25(土)10:00～追加申込

WEB



堺市文化振興財団 イベント情報

フェニーチェ堺と同じく、「公益財団法人 堀市文化振興財団」が運営する、皆様の身近な施設で実施する催しを一部ご紹介します。

'25 1/19日 [開演14:00] アルテベル(堺市立美原文化会館)ホール

堺市・美原町合併20周年記念 アルテベル寄席 桂二葉 独演会

●出演／桂二葉 ほか



全席指定

前売¥3,300 当日¥3,500

[チケット発売中(残席わずか)]

○お問合せ／堺市立美原文化会館 ☎072-363-6868

[主催]アルテベル(堺市立美原文化会館)

[協力]堺市美原区役所

WEB 電話 窓口 び 口 e ★

'25 1/25日 [開演14:00] 堀市立東文化会館 フラットホール

音楽のあるひととき in HIGASHI Vol.6 「サン=サーンスが産みの親!! 珍編成の名曲♪」～トランペットとピアノ六重奏～

大阪交響楽団のメンバーによる、1時間の気軽にクラック音楽をお楽しみいただけるひととき。今回は珍しい編成の七重奏でお届けします。

●出演／永嶺貴洋(ヴァイオリン)、西馬美奈子(ヴァイオリン)、坂口雅秀(ヴィオラ)、金井悠(チェロ)、渡戸由布子(コントラバス)、白水大介(トランペット)、二塚裕美(ピアノ)

全席自由 ¥1,000(前売・当日とも)

[チケット発売中(残席わずか)]

○お問合せ／堺市立東文化会館 ☎072-230-0134

[主催]堺市立東文化会館

[制作協力]公益社団法人 大阪交響楽団

WEB 電話 窓口 び 口 ★ Lコード54038



'25 2/15日 [開演14:30] 梅文化会館 ホール

フェスティバルin梅 「梅文うたごえ広場」

童謡・唱歌・歌謡曲などの名曲をピアノ演奏にて客席で一緒に歌います。

●ピアノ・歌唱指導／福嶋勲

●予定曲目／雨ふりくまの子、水色の手紙、矢切の渡し、昂 ほか



全席指定 ¥1,000(前売・当日とも)

[チケット発売中]

○お問合せ／梅文化会館 ☎072-296-0015

[主催]堺市立梅文化会館

WEB 電話 窓口 び 口 e ★ Lコード55230

チケット 取扱い

WEB 「sacayメイト」WEB購入
電話 電話購入 惠口 窓口購入
※詳しい購入方法はP02をご参照ください

チケット び
チケット びあ



'25 2/22日 [開演19:00] フェニーチェ堺 小ホール

岩本未貴ユーフォニアムリサイタル

堺市新進アーティストバンクでの活動の集大成として、自らの軌跡をたどるリサイタルを開催します。

●出演／清水初海(ピアノ)

●ゲスト共演／深川雅美(ユーフォニアム)



全席指定 一般¥2,500
高校生以下¥1,500

[12/7(土)チケット発売]

○お問合せ／堺市文化振興財団 ☎072-228-0880(平日9:00～17:30)

[主催]公益財団法人堺市文化振興財団

[協賛]三木楽器 Low Brass Center

WEB 電話 窓口 び 口 ★ Lコード56313



こども食堂にアーティストがやってくる!

堺 市文化振興財団では、学校、こども園、病院、福祉施設、こども食堂といった地域の様々な場所で、コンサートやワークショップを実施しています。

クラシック音楽、オペラ、ジャズ、絵画、造形、能楽、バレエ、コンテンポラリーダンス等の様々なジャンルを取り扱い、経験豊富なアーティストと連携して、受入先と調整しながら企画を提案・実施します。またその現場で活躍する若手アーティストの育成支援も行っています。令和3年度から、堺市内で活動することもできるこども食堂にアーティストを派遣して通年でワークショップを実施する事業を継続しています。この事業では、こども食堂が地域の居場所としてあらゆることもや大人がのびのびと過ごせる時間を、こども食堂実践者の皆さんと一緒に作ることを目的としています。今年度は、地域のこどもたちと一緒にダンボールでお面を作り、そのお面をかぶって公園や施設で撮影会をしたり、ブラジルにルーツがあるこどもたちと一緒に演劇を使った遊び場を開いたり、小さなこどもから大人まで一緒に楽器を鳴らして音楽を作るワークショップを開いています。こどもを中心とした地域つながりのきっかけ作りに日々取り組むこども食堂実践者の皆さんにとって、私たちの事業が少しでもお役に立てればと思い、これからも活動を続けていきたいと思います。なお令和5年度事業報告書はこちらからご覧いただけます。



未来の音楽家応援企画「チャレドリ」 ～Challenging your dreams～

2024
7/24水・25木
10/5土 小ホール

夢に向かって挑戦する未来の音楽家を応援したい! そんな気持ちで実施している「チャレドリ」。普段は午前・午後・夜間・全日と区分利用しかできない小ホールですが、この日だけは時間単位でのお申し込みが可能。コンクールに向けて本番に近い環境で練習をしたり、オーディションの審査用動画を撮影する目的で、お使いいただけます♪ 次回実施は12/21(土)です。



河野愛莉さん(小5)

◆利用者さんにお話を聞きました!

2024年度ピティナ・ピアノコンペティション((財)全日本ピアノ指導者協会主催)において全国大会出場を果たし、ベスト37賞(C級)という好成績をおさめた河野さんも「チャレドリ」を効果的に練習に役立て、ピアノの研鑽に励まれています。「ピアノを弾いてる人を見て楽しそうだなあと思って、お母さんに習いたいとお願いしました」と小学生らしい動機でピアノレッスンを始めた河野さん。1日2時間以上はピアノの練習に充てているといいます。「6時半に起きて、ボボとララ(愛犬)の散歩をしてから朝ごはんを食べます。登校前にハノンを弾いて軽く練習をやります。学校から帰ってきてから、宿題とピアノの練習をして晚ごはん。その後もピアノの練習をしてから9時には寝るようにしています」フェニーチェ堺の「チャレドリ」を利用したきっかけは、コンペティションやコンクールで入賞するためには、家の練習では限界を感じたからだと。



夏のこどもワークショップDAY

2019年から続いている恒例のイベント♪ 今年は500人を超える子どもたちとご家族が遊びに来てくれました! 写真家の井上嘉和さんと一緒に「ダンボールのお面」ワークショップでは、完成した創造性豊かなお面をかぶって決めポーズをバチリ! 普段は入れない舞台のシカケやウラガワが体験できる小学生限定の大人口アソビ企画「夏休みホールたんけんたい」は、今年もすぐに申込終了。オリジナルの風鈴やおりをつくる楽しい工作ブースや、巨大なシャボン玉の中に入ったり目の前でテーブルマジックが楽しめる体験ブースなど、大学生サークル/部活動のお兄さんお姉さんたちとすごす「大スタジオエリア」も、順番待ちがたくさん出てしまうくらいの盛況ぶりでした。

こども劇場スタッフの感想

今回、こども劇場スタッフに参加しようと思った理由を教えてください。

- ◆お母さんに教えてもらっておもしろそだなあ~って思ったから!
- ◆よく、フェニーチェ堺に来ていて、そんな所で仕事をするのが楽しそうだと思ったからです。

参加してみてどうでしたか?
感想を教えてください。

- ◆いつもの日常では、めったに体験できないことがたくさんできて、とても楽しかったです。来年もできれば、また参加したいと思いました。
- ◆普段、お仕事でないと立てない場所にも行け、「こんなしきけがあったんだ!!」とおどろくところもありました。仕事も多くて大変でした。

劇場の仕事について、どう感じましたか?

- ◆台本ナシでやっている本当のスタッフを見て、大変だと思った。カゲアナはとても良かった。
- ◆仕事をしてみたいなと思いました。
- ◆大変だけれど、お客様の笑顔がたくさん見れるので、やりがいのある楽しい仕事だと思いました。



「夏休みホールたんけんたい」 ★こどもスタッフ★

今年は、一緒に運営をしてくれる小学生を初募集!
6人の「こども劇場スタッフ」が大活躍してくれました♪

6月23日(日)

顔合わせ、 打ち合わせ

お友達同士の子も、初めてましての子も、みんな緊張しています。

本番での持ち場を決めて台本を確認したあと、「ホールたんけんたい」の通常版である「ホール体験会」に一般客として参加して、ツアーの流れを確認! 台本は持ち帰って本番まで練習します。



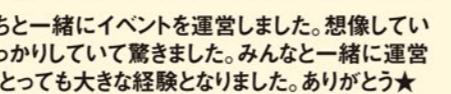
8月21日(水)

当日の朝、集合

ここでみんなにサプライズ! お揃いのフェニーチェボロシャツに着替えました。本番前に、通しでリハーサル! みんなお家でちゃんと練習しててくれて、バッチリ! 一発OK! そして、午後からはいよいよ本番。緊張しながらも、スタッフとして笑顔でしっかりとお客様をナビゲートしてくれました。



今回、初めて子どもたちと一緒にイベントを運営しました。想像していたより、みんなずっとしっかりしていて驚きました。みんなと一緒に運営できたことは、私たちにとっても大きな経験となりました。ありがとうございます★



コンサート
だけじゃない!!

体験 発見 成長

**みんなの
フェニーチェ**

みんなに
オープン?!

フェニーチェ堺では子どもたちや地域の皆様に
楽しみながら多様な文化・芸術に触れる
みなさんはもう参

向けて、毎年様々なイベントを開催しています。
ことで、きっと新しい扉が開かれるはず!
加されましたか?



ホワイエに退避所を。つらくなったらホールから出てきて、中のベンチで一息つけます。

知的・発達障害児(者)に向けての劇場体験プログラム 「劇場って楽しい!! 2024 in フェニーチェ堺」

2024 9/21(土)
大ホール

国際障害者交流センター ビッグ・アイさんのコーディネートのもと、街の劇場に参加できる機会を増やし、芸術文化に触れていただこう、と2021年から続けています。音の大きさや響き、演出効果による照明の明暗、鑑賞者としてのルールなどを学び、「劇場」を体験する学習プログラムです。今年のプログラムは動物がテーマ。最後の曲は映画「ライオンキング」のエンド・タイトル「愛を感じて(Can You Feel The Love Tonight?)」で、会場が一体感に包まれました!



利久寄席×ひるらく 「新作落語の作り方」

2024 9/13(金)
堺東「じゅらく」

初心者向けの気楽な会ながら、毎回趣向をこらしたお題のおかげでベテラン落語ファンのお客様も実は多い「ひるらく」。通算8回目となる9月13日の会では、ついにフェニーチェ堺を飛び出して堺銀座商店街へ! 商店街で30年以上続いている(!)「利久寄席」さんのお膝元で、落語を通じた堺東の魅力発信に少しでも貢献できたらという思いで、お好み焼きの名店「じゅらく」さんの2階お座敷で開催の運びとなりました。出演は桂りょうばさんと落語作家の小佐田定雄さん。



パンフェスタ堺 2024

2024 10/20(日)
箭橋公園

好評をいただいた昨年の第1回から4店舗増え、14のパン屋さんがテントを並べました。前日の雨も上がり、おかげさまで大盛況! たくさんのご来場ありがとうございました。





堺のまち・ひと Town & people SAKAI city

MAP 01

堺の手すき・昆布専門店の郷田商店

北前船で運ばれた昆布と刃物の技術が巡り合い、生まれた手すき昆布

●取材・文／岩本和子 ●写真／瀧本峰子

1 946(昭和21)年、当代・郷田光伸さんの祖父が創業した手すき昆布の「郷田商店」。その頃の堺には100年以上続く昆布問屋が数多あり、「郷田商店」は当時、一番新しいお店でした。時は移り、今では3軒のみに。そのうちの1軒が「郷田商店」です。

堺に昆布が流通し始めたのは、江戸時代後期の頃。堺は大阪と北海道を結ぶ商船群である北前船の寄港地で、北海道産の昆布が荷揚げされていました。刃物の技術が発達していたことから、刻んだり、削ったりと加工した昆布を大阪へ運び、市場に多く出回るようになりました。昆布の消費量日本一と言われる大阪市ですが、その源流は堺にあったのです。

なお、沖縄も昆布の消費量が多い地で知られていますが、食べ方には大きな違いがあります。「沖縄の人は昆布そのものを食べる文化です。茹でた昆布を刻んで炒めたり、豚肉と炊いたりして、野菜代わりに食べていました。ただ、茹で汁は使わず、廃棄します」と郷田さん。同じ昆布でも使い方は正反対。食文化の違いも興味深いですね。



「郷田商店」で扱うのは、北海道・白石浜の真昆布です。おぼろ昆布は刃先をわずかに曲げた特殊な包丁を使って削ります。この曲げる作業を「アキタを入れる」といい、アキタを入れた包丁で職人さんが1枚1枚、昆布の表面を薄く削って製造します。「堺の刃物は600年以上の歴史があるからこそ、我々の要求に合わせたものを作ってくれます。刃先の寿命は短く、約15分も削ると切れ味が悪くなるので、職人がその都度、研いでいます。刃物を研ぐ技術も求められることから、職人になりたての時期は1日中、研いでいることもあります」。

2階の加工場では、職人が昆布を削る音がシャツ、シャツと心地よく響き、加工前に昆布を漬け

る醸造酢の匂いも鼻をかさめます。バッテラ寿司に使われる白板昆布は、削った昆布の芯にあたる部分。寿司店で大きさが異なるため、取引先の木型が並んでいるのも、加工場ならではの光景です。

「おぼろ昆布はうどんに入れて食べるのが主流ですが、とろろ昆布と違ってだしにつけても溶けることなく、帯状の形が残ります。その食感もうどんによく合うと思います」と魅力を語る郷田さん。堺から生まれた食文化をぜひ味わってみてください。

堺の手すき・昆布専門店の郷田商店

☎072-222-6688

〒590-0952 大阪府堺市堺区市之町東5丁1-23

● 9:00~17:00 ● 土曜・日曜定休

寄り道ふえに~ちえ Drop by FANICE

MAP 02

●取材・文／岩本和子
●写真／瀧本峰子

さりょう いちせいちゃほんぽ さかいほんかん 茶寮つぼ市製茶本舗 堀本館

〒590-0934 大阪府堺市堺区九間町東 1丁1-2

● 物販10:30~18:00 カフェテイクアウト11:00~18:00(L.O.17:30)

● 火曜・年末年始定休 ※火曜が祝祭日の場合は営業 ● Pあり(4台)



堺で醸成した茶の湯文化を歴史ある町家でスイーツと共に

1 850(嘉永3)年創業の「茶寮つぼ市製茶本舗」。「堀本館」の建物は、元禄時代に建てられた、16代続いた仕出し屋をリノベーションしています。第二次世界大戦で大空襲に遭った堺市ですが、「堀本館」の一帯は奇跡的に空襲を逃れ、この建物も残ったそう。その後、一度は取り壊しが決まりましたが、「つぼ市」が買い取り、新業態のカフェ部門を2013年11月にオープン。戦争で唯一焼け残った「茶」の看板も、「つぼ市」創業の地である堺に戻しました。「オープン時には、近所の皆さん方がおかえりと言ってくださいました」と嬉しそうに語るのは茶寮リーダー。仕出し屋の厨房に敷かれていた石や、町家を支えてきた大きな梁など、その面影を残すよう

にして改修。季節の花が咲く坪庭も人気です。すぐ横のテーブル席は繁忙期の7月、8月を除いて電話予約も可能です。

すべてのスイーツは煎茶やほうじ茶などのお茶がセットになっており、中でも人気は「特選パフェ」(2,200円)。パフェは抹茶パフェとほうじ茶パフェから選べます。抹茶パフェは、抹茶ゼリー、ミルクゼリー、自家製あんこに濃厚な抹茶アイスなど、丹精込めて作ったスイーツたちがおいしさのハーモニーを奏でる逸品です。お茶との相性も良く、その温もりにもほっこりします。「町家の中を見ていたい、スイーツを味わってもらって、日本茶もおいしいなと思ってもらえた」と茶寮リーダー。長い歴史のある建物で飲むお茶もまた格別です。



こちらの誌面をご持参いただき、店内でお買物もしくはご飲食のお客様先着100名様に
「お好きなティーバッグ(玉露・煎茶・ほうじ茶)を1パックプレゼント
※クーポンご利用は2025.02.28まで

